

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

既読
15:25

イエナプラン教育を参考にしているって、どんな取組なの？

学校教育目標は「自ら学び、ともに伸びる子どもの育成」ですが、「自律と共生」を目指すイエナプラン教育の考え方や、かなり親和性があると感じています。

15:26

そこでイエナプラン教育の考え方を参考にして、学校教育目標の達成に向けて、教職員みんなで何ができるのかを考え、試行錯誤しながら取り組んでいます。

15:27

既読
15:27

具体的には、どんなことに取り組んでいるの？

まず、イエナプラン教育について知る研修や教職員の心の持ち方・考え方(いわゆるマインドセット)について考える対話会から始めました。

15:28

スタートは県教委(こべたん)が進めるオンライン対話会でしたが、途中から研究主任発案の対話会に切り替わり、今では教職員だけで対話しています。

15:29

対話を重ねることで、教職員のチーム感が高まりました。

15:30

三高小&こべたん ミニ対話の会

対話の流れ

- 16:00-05 イントロダクション (話題提示)
- 16:05-20 小グループ (3~4人で対話)
- 16:20-30 全体共有

テーマ

みなさんが話したいことを！

- 5/28 (木) 主体性って？
- 5/29 (金) もやもや発散会①
- 6/1 (月) 多様性を認めるとは？

三高小&こべたん

この指止まれ！式研修会 Part2

R2.06.17 文責：研究主任

- (1) アンケートを踏まえた現状
- ・アンケートの結果から、ほとんどの先生が「自由対話の会がためになる。」「もっと話したい。」と感じている。
 - ・しかし、学校が再開し、日々の子どもへの対応や授業の準備、会議や出張などに終わるため、休業期間と比べ時間的余裕がない。
 - ・Zoomの使い方にだいぶ慣れてきたと考える。
 - ・対話を重ねることに、「こべたん」と「三高小」の間に一体感が生まれてきており、互いのことを知る機会が増えた。そして、対話を重ねるごとに「麻になるもやっ」と(対話や研修で消化し切れていない感情のこと)が生まれてきているため、より対話や研修を重ねていく必要がある。

15:31

もやもや発散会とか面白そう！
先生たちの「もっと話したい」とか「一体感が生まれる」といった反応が素敵だね。学校が共同体になっている感じがする♪

既読
15:32

対話って時間がかかるけど、チーム学校として取組を進めていくためには大事なことだね。それから、どんな取組をしたの？

既読
15:33

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

2学期からイエナプラン教育のワールドオリエンテーション(協働学習)を参考に、異学年グループによる総合的な学習や生活科の授業づくりに取り組んでいます。

15:34



15:36

学年の枠を越えて、みんな楽しそうに活動してるね。異学年のグループはどうやってつくっているの？

既読
15:35

3～6年生が一緒に取り組んでいるんですが、まず、みんなで地域の海探検に出かけ、そこで見つけた不思議や疑問を出し合い、同じことに興味をもった子供たちが集まって、グループを作りました。そして、どんな活動をしていくのか、グループごとに話し合いました。

15:36



15:37

自分が興味をもったことを探究できるのは良いね！イエナプラン教育でも、刺激(事象との出会い)を大事にしているようだけど、しっかり体験する場があるのも良いよね！

既読
15:38

チームごとに課題が違うので対応は大変ですが、課題を自分たちで決めたので、どの子も意欲的に学ぶことができたように思います。

15:39

この後、課題を解決するために、2度目の海探検に出かけたり、インターネットで調べたりしました。

15:39

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～



15:39

上学年が下学年に寄り添う感じが素敵だね！自然な教え合いができるのも異学年グループでの学びの良いところだね♪

既読
15:40

上学年の担任に聞いたところ、こういった経験を通して、子供たちの自己肯定感がかなり上がっているようです！

15:41

異学年グループの良さはよく分かったんだけど、困ったことや難しいことってないの？

既読
15:42

異学年の子供たちが同じテーマで活動しているのに、学年によって目標が違うところが難しいところです。

15:43

学年ごとの目標を明確にするとともに、個の実態に合わせて個別に支援するように心掛けています。

15:43

少人数の良さを生かして、個への支援を充実させているんだね。

既読
15:44

ところで、異学年で実践するという事は、子供たちは同じテーマを数年繰り返すことになるの？

既読
15:44

そこは今、検討中です。同じテーマで取り組んでも、年齢や経験が違っていると、取組内容は変わってくるかもしれません。

15:45

前の学年ではできなかったことに取り組みたいと継続的に実践することもできるかもしれません。

15:46

次年度に向けて、大きなテーマは決めておこうと思いますが、何を探究するのかは子供たちと一緒に考えようと思っています。

15:47

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

本来、探究ってそういうものだよな！
カリキュラムも実践しながら、改善していくといった感じだね。

既読
15:48

もちろん、学び方を学ぶための作り込まれたカリキュラムも必要だと考えています。現在(R3. 3月)、新年度の最初に実践するカリキュラムについて、先生方が準備しているところです。

15:49

他にも、2学期後半からは、イエナプラン教育のブロックアワー(自立学習)を参考に、単元内自由進度学習に取り組んでいます。

15:50

具体的には、どうやって進めていったの？

既読
15:50

まずは授業の中に選択肢を取り入れるところから始めました。例えば、授業の中で取り組むプリントなどを複数用意して、子供たちに選択させるといった取組です。

15:51

そうすると、子供たちが今までより主体的に取り組むことができるようになりました。その後、少しずつ単元内自由進度学習に移行していきました。

15:52



学しゅうするところ	めあて	だしの かじり	プリント	きょう まの あひら
1 きょうのしよ 2～3ページ	みんなで かんがえる 9+4のけいさんのしかたをかんがえることができる。		X	○
2 きょうのしよ 4ページ	8+3のけいさんのしかたをかんがえることができる。		X	△
3 きょうのしよ 5ページの3ばん	3+9のけいさんのしかたをかんがえることができる。		X	○

15:52

提案にも、選択肢と自己決定がキーワードってあったね！
実態に合わせてスモールステップで取り組むのも大事だよな。

既読
15:53

単元内自由進度学習の取組は、実証研究校の1つである宮園小学校の取組を参考にしているので、詳細は、宮園小学校の実践事例を見ていただければと思います。

15:54

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

そうなんだね。三高小学校ならではの取組って
いうのはないの？

既読
15:54

本校は異学年グループの学習活動を大切にしています。

15:55

3学期から、異学年グループでの単元内自由進度学習
にも取り組んでいて、4月からは1～3年、4～6年の異
学年グループでの学習をスタートさせる予定です。

15:55

もちろん、教科の関係もあるので、できるところからにな
ると思いますが。

15:56



15:57

ワールドオリエンテーションと同様に、上学年の子供たちの関
わり方がい雰囲気だね。ところで、先生は何をしているの？

既読
15:57

つまずいている子供たちを集めてミニ指導したり、個別に
支援したりしています。

15:58

これまでの一斉指導と比べて、こうした個別の支援を充
実させることができるのが良いと感じています。

15:58



15:59

3学年が一緒だったら、見取りが大変なんじゃない？

既読
15:59

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

子供同士の教え合いもありますが、一人一人の子供たちの見取りは、今まで以上に大変です。

16:00

既読
16:00

一人一人の見取りは、どのように対応しているの？

この先生の取組を見てください。教室にいる子供たちの学びの状況を名簿を用いてチェックしています。

16:01

このようにして一人一人の学びの状況を把握することで、45分の授業の中で、どの子供にも声をかけることができるので良かったと、話されていました。

16:02



16:03

先生から肯定的なフィードバックがあると、子供もやる気になるよね！しかし教材研究も3学年分となるとかなり大変だね！

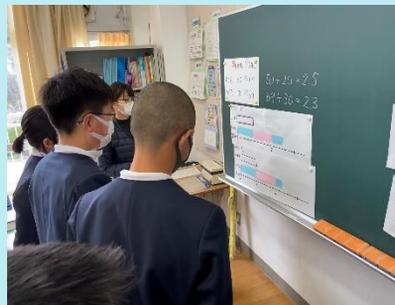
既読
16:04

先生方はチームで教材研究しています。今回の単元は4～6年の担任がチームで教材研究して授業を行いました。

16:05

一人だと難しいこともチームで取り組むことで、先生方は安心して取り組めるようです。

16:06



16:06

どちらの教室でも同じ教具を使っているんだね！確かに、チームで考えると色々なアイデアが出てきて、分かりやすい教具ができそうだね♪

既読
16:07

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

既読
16:08

他にも、先生方からこんな声があるんだけど、どうかな？

既読
16:09

単元内自由進度学習って、自分のペースで学ぶことができていると思いますけど、別の角度から見ると、自習しているだけという気もします。先生たちはどのように捉えていますか？



実は、本校でもそのことが先日話題になって、単元内自由進度学習と自習の違いについて話し合ってみたんですよ。その時のまとめがあるので見てください。

16:10

単元内自由進度学習とは？

単元内自由進度学習		自習
自分で課題を設定して、取り組む	子どもの姿	先生から与えられる課題に取り組む
自分で考えて取り組む		やらされる、こなす
友達に聞いたりしながら協働的に取り組む		一人で黙々と取り組む
先生による個別の支援がある	教師の関わり	先生による個別の支援がない
付けたい力をもとに単元が構成されている		単元構成はない

16 16:10

既読
16:11

なるほど！自分で課題を設定したり、自分で考えたりして取り組めば、自立した学び手になっていくね。そうすると、三高小の学校教育目標の達成につながっていくね。



そうなんです。だから、やらされるとかこなす学びになっていたなら、先生たちは、なぜそうなっているのか要因を考えて、改善していこうとしているんです。

16:12

既読
16:13

付けたい力をもとに単元が構成されているとあるけど、個々がそれぞれに学ぶのに、単元構成があるって、どういうこと？



自立学習は、知識・技能の習得には効率的な部分が多いのですが、思考力・判断力等を習得させるためには、みんなで協働的に学ぶ場面も必要だと思います。

16:14



だから、単元全体を見渡して、どこでどんな力を付けるのかを考えることが大切なんです！

16:14

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

なるほど！単元内自由進度学習も奥が深いね。
他には、どんなところに気を付けて実践しているの？

既読
16:15

本校における単元内自由進度学習と自習の違いを明らかにした後、みんなが思い描く学びをつくるために、何ができるのかについても話し合ってみたんです。

16:16

単元内自由進度学習とは？

単元内自由進度学習	そのためには？
自分で課題を設定して、取り組む	課題発見解決学習の考え方を生かした授業づくり 学び方の指導
自分で考えて取り組む	
友達に聞いたりしながら協働的に取り組む	
先生による個別の支援がある	個別の見取り 個に応じた支援
付けたい力をもとに単元が構成されている	
	教材研究の充実（単元づくり）

22 16:16

そうすると、様々な手立てが出てきて、それを意識しながら実践していこうという話になってるんですよ。

16:17

すごい！先生たちが自立して授業改善に取り組んでいるね。

既読
16:18

個別の見取りや個に応じた支援、教材研究の充実って、今までも大事にしてきたことだよな！そういった点から考えると、個別最適な学びって、今まで大事にしてきたこととつながるね！

既読
16:18

本当にそう思います。特に教材研究は、とても大切だと実感しています！

16:19

一斉指導と比べて、直接指導する場面が少ないので、事前の準備が授業の成否に大きく影響します。そのため学習計画表づくりには、みんなすごく注力しています。

16:19

なるほど！すごく勉強になったよ。
次年度は、複数教科での単元内自由進度学習にもチャレンジすると言っていたので、またじっくり話を聞かせてね！

既読
16:20

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～

既読
16:20

もう一つ、先生方からこんな声があるんだけど、どうかな？

既読
16:21

異学年の子供たちの関わりっていいなと思いますが、3学年を担当する先生方の大変さもあると思います。先生たちは異学年で学ぶ意義をどのように捉えていますか？



実はそのことも先日話題になって、異学年が1つの教室で学ぶことの意義についても、話し合ってみたんですよ。

16:22

既読
16:23

それは大事なことだね。やっている先生方が意義を感じてないと、うまくいかないもんね。



そうなんです。そこで、子供たちがどう感じているのか、アンケートを取ってみました。

16:24



すると、多くの子供たちが異学年での学びについて肯定的に捉えていることが分かりました！

16:25

質問項目	肯定的な回答(%)
これまでより自分から進んで取り組むことができましたか？	86%
これまでより自分のペースで取り組むことができましたか？	90%
これまでより分かりやすかったですか？	86%
今後も続けたいですか？	90%

16:25

既読
16:26

子供たちは、かなり前向きに捉えているようだね！
子供たちにとって何が良かったのかな？



子供たちの記述内容を見ると、「他の学年の人たちが教えてくれたから」、「教えるために自分も頑張って問題を解くことができた」、「他の人のために頑張ろうと思ったから」といった意見が出ていました。

16:26

既読
16:27

これって、三高小学校が目指す「自ら学び、ともに伸びる子供の育成」につながっているね♪

具体的な実践事例② ～江田島市立三高小学校～



また、先生方からは、異学年で学ぶと周りの人とは学習内容や進度が異なるため、人と比べる必要がなくなり、安心して自分のペースで学ぶことができるのではないかという声もありました。

16:28

確かに！同じ内容を同じペースで学んでいると、周りの様子が気になるけど、周りとの学習内容や進度が異なっていると、自分の学習に集中できそうだね！

既読
16:29



異学年の学びを始めて、休憩時間も一緒に遊ぶ姿が増えて、人間関係が広がって良かったなと感じています。

16:30



若手の先生からは、学びを一緒に進めるために、先生同士の協議が活発になり、経験豊富な先生から学ぶ機会が圧倒的に増えて勉強になるという声もありました。

16:31

まさしく、OJT(On the Job Training)だね！
でも、話し合いの時間の確保が難しそうだね。

既読
16:32



そうなんです。だから、授業中でも必要な時に話をするようにしています。次年度は、時程を見直して、放課後に話し合う時間を確保しようと考えています。

16:33

なるほど！新しいことを進めると課題もたくさん出てくるけど、それをやらない理由にせず、どうやったらできるのかを考えながら、取組を進めているんだね！

既読
16:34



先生方は、本当に前向きに取り組んでいます！

16:35



今も、「学習内容を工夫したらもっと異学年の学びが深まるのではないか」などと考えて、同僚と協働しながら、チーム学校として、日々試行錯誤しています。

16:36

今後も楽しみだね。また、取組の様子を聞かせてね。

既読
16:37